

# 白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会  
〒753-0046  
山口市本町1-1-25  
白石地域交流センター内  
TEL 083-941-5959  
FAX 083-941-5966  
<http://www.y-shiraishi.net/>  
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



2015年5月1日号 Vol.23

## 第51回 白石地区町内親睦大運動会開催!!

日時：5月17日(日) 8:50~16:00 場所：白石小学校  
町内一丸となって熱戦を繰り広げる「町内対抗競技」に加え、誰でも参加できる「オープン競技」もたくさんあります。町内イベントがない方のための自由観覧席もありますので、どなたでもお気軽にご参加ください。各競技の開始時刻は、5月1日配布の運動会プログラムをご覧ください。

### SLIに向かって 手をふるう!

11時過ぎと17時過ぎに  
白石地区内を通過します

沿線へ、散歩中に、お宅から…  
SLIに向かって、元氣よく、笑顔でふるう!  
きっと、乗客のみなさんも笑顔で楽しんでくれるよ!  
(※安全第一。線路に入ったりしてはけません)

5月の運行予定日

日	月	火	水	木	金	土
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

「チャレンジデー」にみんなで参加しよう!

## ノルディックウォーキング 参加者募集!!

日時：5月27日(水) 午前10時集合  
集合場所：白石地域交流センター  
(駐車場に限りがあります。自家用車での参加はご遠慮ください。)



5月27日 水

午前0時~午後9時

対戦相手は・・・vs 秋田市(秋田県)

チャレンジデー

この日は15分間運動しよう!  
犬の散歩、ストレッチ、徒歩や自転車での通勤・通学、運動ならなんでもOK!15分間運動したら当日の午後9時30分までに①氏名・事業所名・団体名、②参加人数、③運動の種類を報告してください。報告先は、電話は083-934-2912、FAXは083-934-2702・2665、メールはchallengeday@city.yamaguchi.lg.jp、インターネットは右のQRコードを読み込んでフォームに入力してね!(\*電話受付は午前9時~午後9時30分)

コース：白石地域交流センター → 一の坂川河畔の森 → 瑠璃光寺 → 柳の水【五十ダム・昼食】  
→ 普門寺 → 白石地域交流センター (全行程約8km)

持参品：お弁当・飲物・雨具(かっぱ) 動きやすい服装・運動靴などで参加してください。

申込方法：窓口、電話、FAXのいずれかで「白石地区地域づくり協議会」 TEL083-941-5959 FAX083-941-5966  
「白石地域交流センター」 TEL083-922-0381 FAX083-922-0416

申込締切：5月22日(金) ※雨天の場合は商店街アーケード内で実施します。(ポールをお持ちの方はご持参ください)  
※参加者の名前についてはチャレンジデー参加者として、山口市チャレンジデー実行委員会に報告させていただきますあらかじめご了承願います。

## 地域づくり計画策定委員会からのお知らせ 住民アンケート調査実施!!

5月、いよいよ「住民アンケート調査」を実施します。アンケートは白石地区在住の18歳以上の方を対象に無作為に2000人の方を選ばせていただき5月1日(金)に発送します。お手元に届きましたら、是非ご協力くださいますようお願いいたします。なお、ご記入いただきましたアンケートは、5月22日(金)までに同封の返信用封筒に入れてご投函くださいますよう、よろしくお願ひします。

また、委員会では、より多くの方の地域に対する思いをお聞きするために、西山香代子氏をファシリテーターにお招きし4月20日(月)に事前研修会を行い、4月25日(土)には、『みんなでつくる

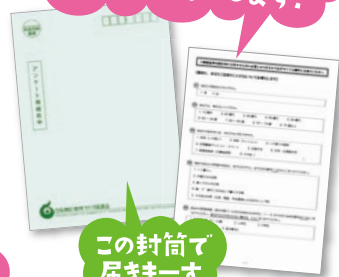
住みよいまち・白石』をメインテーマに「第1回住民座談会(ワークショップ)」を開催しました。多くの方にお集まりいただきたくさんのご意見をいただき、ワイワイと楽しい会となりました。「ワークショップ」でいただいた貴重なご意見は、「住民アンケート調査」の結果とあわせて、今後の地域づくり計画の参考にさせていただきます。ご参加くださいました皆様ありがとうございました。



「ワークショップ」準備

にしやまかよこ  
西山香代子氏  
・やまぐちネットワークエコー代表  
・山口きらめき財団 アドバイザー

アンケートが届いた方  
ご協力をお願いします!



この封筒で  
届きます



楽しい  
ワークショップに  
しよう!

なごやかな  
雰囲気づくりを



「ワークショップ」グループリーダー研修会

第12回 おおむらますじろう かしん 大村益次郎『花神』ふたたび① ～大志を抱く～

花神

一人の男がいる。  
 歴史が彼を必要とした時、<sup>こつぜん</sup>忽然として現れ、  
 その使命が終わると、大急ぎで去った。  
 もし、維新というものが正義であるとすれば、  
 彼の役目は、<sup>つつうらうら</sup>津々浦々の枯れ木にその花を咲かせてま  
 わる事であった。  
 中国では<sup>はなさきじ</sup>花咲翁<sup>かしん</sup>の事を花神という。  
 彼は、花神の仕事を負ったのかもしれない。  
 彼一、<sup>むらたぞうろく</sup>村田蔵六、<sup>おおむらますじろう</sup>後の大村益次郎である。  
 ♪フ～ン ♪チャラッ チャー チャラ ♪チャー チャラ♪  
 パッパッパッパ～ン♪

現在、大河ドラマ『花燃ゆ』が放送中ですが、今から38年前の昭和52年(1977)にも山口県を舞台にした大河ドラマがございました。そうです、『花神』(原作・司馬遼太郎)であります。今回は、そのオープニングのナレーションと音楽でスタートさせていただきました。

「『花神』? は? 私は知らんでね」・「おお、そういやあ、わしも昔みたのう」・「ああ、あの『おでこ』の広い人じゃろう。懐かしいねえ」。そんな声が聞こえてきそうですね。

村医者の子に生まれる

このドラマの主人公、大村益次郎は、文政8年(1825)5月3日、周防国<sup>すおうのくに</sup>鑄銭司村(現・山口市鑄銭司)で生まれました。もし今生きちゃったら今年で満190歳であります。彼は幼名<sup>そうたろう</sup>を宗太郎、後に<sup>りょうあん</sup>医名を良庵と称し、その後、蔵六に改

名。大村益次郎と名乗ったのは、慶応元年(1865)のことでした。

村田家は代々、村医者で、医業のかたわら農業を営んでいました。彼は3歳の頃、家族とともに、父の実家であります<sup>あいおむらあまだ</sup>秋穂村天田(現・山口市秋穂西天田)の藤村家へと移ります。この家も村田家同様、村医者で、父は医業のかたわら近所の子どもたちを集め、寺子屋を開いていました。また、母も教養のある人物でありましたから、益次郎も、両親のよき薫陶を受けながら、光り輝く富の里、秋穂村にて幼少期を過ごしたのでありましょう。



大村益次郎

大志を抱く

天保13年(1842)、18歳になった益次郎は三田尻(防府市)の<sup>うめだゆうさい</sup>梅田幽齋の塾に入門。翌天保14年(1843)4月には豊後国日田(現・大分県日田市)の<sup>ひろせたんそう</sup>広瀬淡窓<sup>かんぎえん</sup>の咸宜園で儒学や漢学を修習。弘化3年(1846)には蘭学をさらに深く学ぶため、大志を抱き大坂(現・大阪市)に至り、<sup>おがたこう</sup>緒方洪庵<sup>あん</sup>の<sup>てきしゆく</sup>適塾(大阪大学の源流)に入門しました。

ここでは蘭学の他に医術を習得。さらには長崎にも遊学。シーボルトらの教えを受け、嘉永元年(1848)、再び塾に戻り、洪庵を助け塾頭として指導・監督にあたりました。

この塾は、福沢諭吉、橋本佐内、大鳥圭介、佐野常民、そして、所郁太郎などをはじめとする多くの人材を輩出。いずれも明治維新前後、近代日本建設のために活躍した英才たちでありました。

明治維新150年記念講演のお知らせ

<sup>こやまよしまさ</sup>小山良昌氏を講師にお招きし、講演会を開催します。

演題:「江戸時代、山口町の盛衰と振興策」  
 講師: 小山良昌氏  
 日時: 平成27年5月23日(土) 13:30～  
 場所: 白石地域交流センター講堂  
 申込: 白石地区地域づくり協議会 (TEL 941-5959)  
 白石地域交流センター (TEL 922-0381)



参加無料  
学生さんも大歓迎

山口町人の実態については、従来ほとんど知られていませんが、多くの資料を調査し、その実態を把握しておられる小山氏にお話ししていただきます。お気軽にご参加ください。

第26回山口100萩往還マラニック大会が開催されます!

「マラニック大会」とは、歴史の道「萩往還」を広くPRしようと平成元年から開催している、マラソンやウォーキングを楽しむ大会です。

選手のみなさんは、山口駅前を5月3日(日) 18:10～18:20頃通過します。

みなさん、沿道に出て応援しましょう!

